

6月といえば**梅雨**。雨が降った時は、体や頭が濡れないように**傘**を使いますね。
6月11日には「**傘の日**」というものがあるそうですよ。
そこで、傘にまつわる絵本と物語を紹介します♪

0〜5歳

おとうさんのかさ
三浦 太郎／作 のら書店 2012.6

3〜5歳

ジョナスのかさ
ジョシュ・クラート／文、アイリーン・ライ
アン・イーフェン／絵 千葉茂樹／訳 光村
教育図書 2020.11

小学5〜6年生

風にのってきたメアリー・ポピンズ
P.L.トラヴァース／作、林 容吉／訳
改版 岩波書店 1985

おはなし会

6月のおはなしの森 **参加無料**

場所：県立図書館3階おはなしの森

時間：10:30〜（約30分）

■6月19日(木)定例おはなし会

■6月26日(木)えいごでおはなし会

■6月28日(土)世界の絵本読み聞かせ会

対象は未就学児です♪
どなたでもご参加ください！

県立図書館で
昔のテレビ番組
見られます！

放送ライブラリー 新着番組

テレビ番組17本、ラジオ番組14本が新しく追加されました！

日本やきもの紀行・土と炎の匠たち **壺屋焼・金城次郎**
(NHK 1994.1放送) 【テレビ番組】

ふるさとの伝承 果報の島の結願祭 **沖縄県小浜島の芸能**
(NHK 1997.11放送) 【テレビ番組】

民謡で今日拝なびら 45周年記念スペシャルウィーク
(琉球放送 2006.12放送) 【ラジオ番組】

Basketball island OKINAWA
〜沖縄バスケット100年の歴史〜
(ラジオ沖縄 2023.5放送) 【ラジオ番組】 ほか

図書館4階にあるA V P Sの専用端末で視聴できます。
4階カウンターでお申込みください。

図書館からのお知らせ

利用案内

開館時間：9時〜20時（火曜・年末年始・特別整理日休館）
休館日：毎週火曜日、年末年始、特別整理期間
※図書館専用の無料駐車場はございません。
お車でお越しの際は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

来館される皆様へお願い

・館内では飲食禁止ですが、倒れても中身がこぼれない容器に入れた飲み物は館内で飲むことができます。（5階郷土資料室を除く）
・携帯電話等通信機器はマナーモードに設定し通話をされる際は館内（4階・5階）に設置された電話ボックスをご利用ください。
・館内は撮影禁止です。

フレッシュな情報はここから！

沖縄県立図書館 公式X（旧Twitter）
QRコード

フォロワー数
全県立図書館
No.1！

沖縄県立図書館 公式Facebook

沖縄県立図書館 公式YouTube

調べものの相談受付中！

文章生成AIをご活用のみなさま！
生成された文章の根拠をお探しですか！？
調べる方法が分からない場合は
図書館に聞くこともできますよ♪

調査・相談（レファレンス）サービス
について
詳細は沖縄県立図書館HPをご覧ください。

としょかん
つうしん

図書館通信

VOL. 198
06 JUN, 2025

ごあいさつ

6月23日は慰霊の日

6月の沖縄は、しとしとと優しく降る梅雨の雨に包まれます。外出が少なくなるこの季節は、自然と心が内面へと向かいがち。そして、6月23日は「慰霊の日」。沖縄戦で失われた多くの命に思いを馳せ、平和の大切さを改めて考える特別な一日です。今年は戦後80年という節目も近づいており、過去を語り継ぐことの意義が、より一層深まっています。
沖縄県立図書館では、この時期、沖縄戦に関する資料展示も行っておりますので、ぜひ足をお運びください。静かな時間が流れるこの季節、本と向き合い、歴史や平和についてゆっくり思いを深めるひとときを過ごしてみませんか。

イベント

戦後80周年事業「石の声」が教えたもの-伝説の授業をふりかえる- **参加無料** **要予約**

『石の声』が
教えたもの
-伝説の授業をふりかえる-

講師
金城 満氏 美術家 元琉球大学大学院教授

定員
先着80名（申込多数の場合締め切ります。）

対象者
学校司書、美術科教諭、平和教育担当者他
関心をお持ちの方は、どなたでも。

6月13日（金）14:30〜16:45（14:00開場）

申込方法

・電話098-894-5858（代表）

・右側QRコード（Googleフォーム）

・3階総合カウンター窓口

ご報告

沖縄県退職校長会さまより本の寄贈を受けました！

このたび、沖縄県退職校長会の皆さまより、地域の子どものために合計372冊（児童向け図書：220冊、広域サービス用図書：152冊）の図書をご寄贈いただきました。これらの図書は、沖縄県立図書館の職員が子どもたちの興味や学びに寄り添えるよう心を込めて選書したものです。教育現場に長年携わってこられた退職校長会の皆さまと、図書館職員の想いが重なり、心のこもった贈り物となりました。今後、寄贈いただいた図書は、図書館内や移動図書館「空とぶ図書館」、「一括貸出」を通じて広く活用し、多くの子どもたちに読書の楽しさを届けていきたいと思います。
未来を担う子どもたちの成長を願うあたたかなご支援に、心より感謝申し上げます。

ご報告

移動図書館「空とぶ図書館」を開催しました！

4月19日・20日、与那国町立図書室（嶋仲公民館）で移動図書館を実施しました。2日間で161名が来館し、569冊の貸出がありました。県立図書館職員と与那国町教育委員会が協力し、開館準備から多彩な企画まで行いました。美ら海水族館による与那国島固有生物の展示と解説、缶バッチづくり、与那国島在住デザイナー「末木逸加」さんによる本のデザイン講座、「篠崎由佳」さんによる、ウクレレを交えた「姿でる読み聞かせ」など、幅広い年代の方々が人と読書を通じて学びと楽しさを体験しました。
沖縄県立図書館は、地域に根ざした図書館活動として、今後も読書の魅力を届けてまいります。

沖縄県退職校長会のみなさまと館長（左から4番目）、副参事（うしろ右側）

郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階

新沖縄文学 96号
出版社：沖縄タイムス社 出版年：2025(令和7).2
資料コード：1010226429
『新沖縄文学』は復帰前の1966年に発刊され、1993年に95号で休刊となるまで、沖縄の論壇をリードした雑誌。同誌から生まれた「新沖縄文学賞」の50周年記念事業として32年ぶりに96号が発行されました。ベテランの作家の作品だけでなく、「月め走いや、馬め走い」の著者、豊永浩平氏のエッセーや、県出身の漫画家、大臼壺氏の書き下ろしなど、若い才能の作品も味わえる贅沢な1冊です。

沖縄では海を見ない「内地」との二拠点生活日記 3
藤井 誠二／編著
出版社：論創社 出版年：2025(令和7).1
資料コード：1010226296
爆音がする。空を見上げる。オスプレイが飛んでいる。米軍による騒音被害や墜落事故は後を絶たない。怒りの声が上がる。だが、日米地位協定の壁や「内地」の無関心によって声はかき消されてしまう。沖縄でも暮らす日々の記録。

100の指標からみた沖縄県のすがた
沖縄県企画部統計課／編
出版社：沖縄県企画部統計課 出版年：2025(令和7).2
資料コード：1010405049
沖縄県が全国においてどのような位置にあるかを県土、人口、経済、福祉、医療、教育等の11の分野にわたる様々な指標で示したものです。これを見ても沖縄の良いところやちょっと頑張らないといけないところが数字で分かりやすく見えてきますよ！沖縄の現状や特徴、課題を把握し、未来について考えてみませんか？根拠資料におすすめてす。

Guinea Mate 我喜屋 位礎務／著
出版社：トゥーヴァージンズ 出版年：2025(令和7).1
資料コード：1010226361
我喜屋位礎務（がきやいさむ）は沖縄県出身、東京在住のアーティスト。「guinea mate」は商業出版として著者のドローイング作品集であり、自分自身の生き方と生活を肯定するための架空の経典として、24条が収録されています。「3条 疲れたらすぐ休む」「15条 店員さんに親切にする」「24条 自分第一」などなど。魅力的なイラストがたっぷり楽しめる画集です。

作家とお金 本田 健／著
出版社：きずな出版 出版年：2024.11
資料コード：1010421723
作家という生き方に迫る！作家として20年以上活躍する著者が、国内外の出版事情や働き方を通じて「作家のリアル」を語る一冊。夢の印税生活の現実、作家のお金の使い方、日常、努力の実態など、多くの具体例やエピソードから作家という職業を身近に感じられます。創造的な生き方に憧れる方におすすめです。

3階展示

■沖縄県健康長寿課 令和7年度 世界禁煙デー・禁煙週間パネル展 ～6/9

■沖縄県健康長寿課 令和7年度 歯と口の健康週間パネル展 ～6/9

■沖縄県自然保護課 令和6年度 沖縄県愛鳥週間ポスターコンクール入賞作品展 ～6/2

■沖縄県環境整備課 ごみ減量・リサイクル推進 取組パネル展 6/11～6/23

■沖縄県技術・建設業課 「測量の日」パネル展 6/4～6/16

■沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー） 新収蔵展 岸本一夫オキナワデザイン展 ～6/23

夏休み企画展 ブラック・ジャック展 6/25～

■生涯学習推進センター 美ら島沖縄学講座紹介展示 ②～6/9 ③6/11～7/7

■沖縄県建設業協会青年部会フォトコンテスト～島の魅力～上位入賞作品展示 6/25～7/14

■TRCスタッフ うめで梅つくそう！ー梅展示ー ～6/9

■沖縄総合事務局 いちゃりばは食育パネル展～みんなで食べたらおいしいね！～ 6/4～6/9

自主企画■沖縄ゆかりの小説（ティーン向け） ～6/2 ■戦後80年 関連展示 6/18～6/23

自主企画■県立図書館で知ろう！21世紀ビジョン基本計画 6/4～6/30

■グッジョブセンター紹介展示 ～6/9

■「今読むべきこの10冊」vol.16 沖縄県立芸術大学 ～9/29

自主企画■調査・相談（レファレンス）サービス紹介展示 スマート農業他 ～6/3

5階展示

自主企画■戦争関連展示2025 戦後80年 平和を考える ～7/7

※展示によっては急遽日程等変更がある可能性もあります。ご注意ください。

調査・相談

沖縄なんでもQ&A No.165

今年には美ら海水族館で飼育されている「オキちゃん」「ムク」飼育50周年です。今月は「オキちゃん」について調べた案件をご紹介します。調べものがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

Q.「オキちゃん」について知りたい。

オキちゃんは、沖縄本島北部の本部町にある沖縄美ら海水族館で飼育されている、メスのミナミバンドウイルカです。推定年齢は52歳。国内では同水族館でのみ飼育されています。野生では小笠原や奄美大島などの海域に生息します。長い間バンドウイルカの亜種とされていましたが、1998年に分類が見直され、種として独立しました。体長は最大で2.6メートルほど。成長すると腹部から体側に現れる黒色斑と、細長い口先が特徴です。

「オキちゃん」という名は、1975年に開催された沖縄国際海洋博覧会（以下海洋博と略）のマスコットマークにつけられた愛称でした。1973年5月15日、1964年東京オリンピックのシンボルマークを手がけた亀倉雄策氏の制作による、イルカをデザイン化したマスコットマークが発表されました。その愛称には3万通余りの応募があり、審査の結果、「オキちゃん」が採用されました。同年10月17日に那覇市民会館で開かれた「海洋博と観光のタベ」（沖縄県観光連盟主催）の会場で発表され、「オキちゃん」の名で応募があった73通を抽選した結果、那覇市の女兒（10歳）が当選。賞金10万円と副賞のカップが贈られました。ちなみに、佳作としては「ルカ」「ジャンピー」「ユンタ」が選ばれています。

1975年7月20日から1976年1月18日にかけて、沖縄の本土復帰記念事業の一環として、「海——その望ましい未来」をテーマに開催された海洋博には、日本政府は、「水族館」と「いるかの国」からなる海洋生物園を出展しました。

海洋博に向けたイルカの捕獲は、1974年6月9日から7月上旬にかけて行われました。財団法人沖縄国際海洋博覧会協会にイルカの捕獲を委託された八洲観光開発（国内最大の海洋レジャーセンター「鴨川シーワールド」を経営）は、奄美漁業協同組合と瀬戸内町の協力のもと、追込み漁により30頭のイルカを、鹿児島県奄美大島と加計呂麻島の間にある大島海峡で捕獲しました。

イルカたちは新しい環境に順応する訓練や基礎調教を受け、15頭が選ばれました。これらのイルカたちには個体識別のため、背びれに色付きのタグ（黒、白、紫、緑など）が装着され、タグの色から、「クロ」「シロ」「ムク（黒紫）」などと呼ばれました。そのなかでも、ひときわ物覚えが良く、俊敏だったイルカが「白緑（シロミドリ）」でした。

のちにイルカショーのエースに抜擢された「白緑」は、マスコットマークの愛称を受け継ぎ、「オキちゃん」と名付けられました（※）。1975年4月25日から5月2日にかけて、奄美から海洋博会場までの290kmを1頭ずつ、1時間半をかけてヘリコプターにより空輸されました。機内では、イルカは担架に乗せられ、水を浅く張った箱に納められ、皮膚表面に水をかけながら運ばれました。

海洋博が開幕すると、イルカショー「オキちゃん劇場」は目玉イベントになります。海洋博期間中、349万人が来場し、そのうち270万人がオキちゃんのいる水族館を訪れました。海洋博が閉幕し、新たに国営沖縄海洋博覧会記念公園（海洋博公園）が開館してからも、オキちゃんは「オキちゃん劇場」で大活躍。沖縄美ら海水族館となった現在まで、その活躍ぶりは皆さんもご存じの通りです。

2025年5月1日、オキちゃんは、奄美大島から一緒にやってきたオスのミナミバンドウイルカ、ムク（推定54歳）と共に、飼育開始から50年を迎えました。2頭は、国内の鯨類で最長の飼育記録を更新中です。（宮良）

※1975年当時はイルカショーに出演するイルカたちを、まとめて「オキちゃん」と呼んでもいたようです。（『オキナワグラフ』2025年5月号、p.12）

【参考資料】
『改訂版沖縄美ら海水族館ガイドブック』一般財団法人 沖縄美ら海財団、2012年
『沖縄国際海洋博覧会の記録』通商産業省、1976年
『沖縄国際海洋博覧会公式記録（総合編）』財団法人 沖縄国際海洋博覧会協会、1976年
『沖縄国際海洋博覧会政府出展報告』通商産業省、1976年
『東邦経済』第45巻7号、東邦経済社、1975年
『海洋博ニュース』No.7（1973.4）、No.9（1973.7）、No.12（1973.11）、No.21（1974.7）、No.24（1974.10）、沖縄国際海洋博覧会協会
『毎日グラフ別冊 沖縄海洋博』1975年9月1日号、毎日新聞社
『オキナワグラフ』2025年5月号、オキナワグラフ社
『琉球新報』2022年5月15日
『沖縄タイムス』1975年4月26日、2025年4月26日

【インターネット】最終アクセス：2025年5月8日
沖縄美ら海水族館「美ら海生き物図鑑：ミナミバンドウイルカ」
https://churaumi.okinawa/fishbook/00000671/
沖縄美ら海水族館「沖縄美ら海水族館の歩き方」
https://churaumi.okinawa/userfiles/files/premiumbook.pdf

沖縄美ら海水族館では「飼育50年記念イベント」を開催中！この機会に「沖縄美ら海水族館」に足を運んでみてはいかがでしょうか

注意！ @icloud.comをご利用の利用者の皆さまへ

沖縄県立図書館からのメールが一部の@icloud.comアドレスに届かない不具合が発生しています。復旧作業中ですが時間を要する見込みのため、必要に応じて電話や郵送で連絡いたします。不要な方はMyライブラリで設定変更をお願いします。